

トルコの柑橘類事情(タンジェリン/マンダリン)

米国農務省GAINレポート 2024年1月22日

これは米国農務省海外農業局アンカラ事務所(トルコ)が作成した「柑橘類年次報告書」の一部を翻訳したものであり、米国政府の公式見解及びデータとは異なる場合があります。

要旨

トルコの果実と野菜の小売価格は、高いインフレ率と柑橘類の増収への対応のまずさの両方により、2023年に最高に達した。2023/24年度のトルコの柑橘類生産量は、春の好天と近年新植された園地の成園化により、約90%増の700万トンと予想される。しかし、トルコの生産者らは、2023年春の降雨量が少なかったため、品質と果実のサイズに問題があると報告している。生産者と輸出業者は、1トン当たり80ドル必要な支持価格安定基金(DFIF)が、余剰生産に関連して将来の収益性のために重要であると指摘している。

柑橘類の一般的な背景

トルコの果実と野菜の小売価格は、高いインフレ率と柑橘類の増収への対応のまずさの両方により、2023年に最高に達した。2023/24年度のトルコの柑橘類生産量は、春の好天と近年新植された園地の成園化により、約90%増の700万トンと予想される。しかし、トルコの生産者らは、2023年春の降雨量が少なかったため、品質と果実のサイズに問題があると報告している。彼らは、異常な天候要因が2023/24年度の過剰生産を引き起こし、果実の品質に悪影響を及ぼしたため、柑橘類生産者は生産物を生産コストを下回る低価格で販売する必要があると考えている。レモンは、投入コストが高く、販売価格が安いので伐採され、園地はより収益性の高い他の園芸作物に転換された。タンジェリンについても同じ状況が予想される。

また、適切なコールドチェーンがないため、約10~15%の損失があると報告されている。トルコの柑橘類生産者らによると、今年の収穫期は、生産コストの上昇、輸出市場の経済的不確実性、及び競合産地(スペイン、エジプト、モロッコ等)の収穫量の増加によって輸出価格が下落したことにより、特に困難であった。

2023/24年度の生産コストは、投入資材価格の上昇により、前年比で大幅に上昇した。生産者らによると、施肥、病虫害の軽減及び灌漑を通じて、果樹を維持するための集中的な努力が必要である。エネルギー、燃料、電気の価格高騰と人件費の上昇は、柑橘類とオレンジ果汁の生産者にとって主要な問題となっている。燃料価格は2023年に、前年比で75.5%上昇した。トルコ統計局(TurkStat)によると、2023年9月の農業投入財価格は前年同月比で40.97%上昇した。一方、労働者の最低賃金は2023年に220%上昇した。

輸出業者らは、国内の小売市場価格と生産者価格のインフレ率が高いにもかかわらず、為替レートが安定しているため、輸出能力と利益率が年々低下していることを指摘しており、また、生産の余剰、他の輸出国との競争、及び輸出コストの上昇を克服するために、トルコ政府(GoT)からの輸出補助金を求めている。

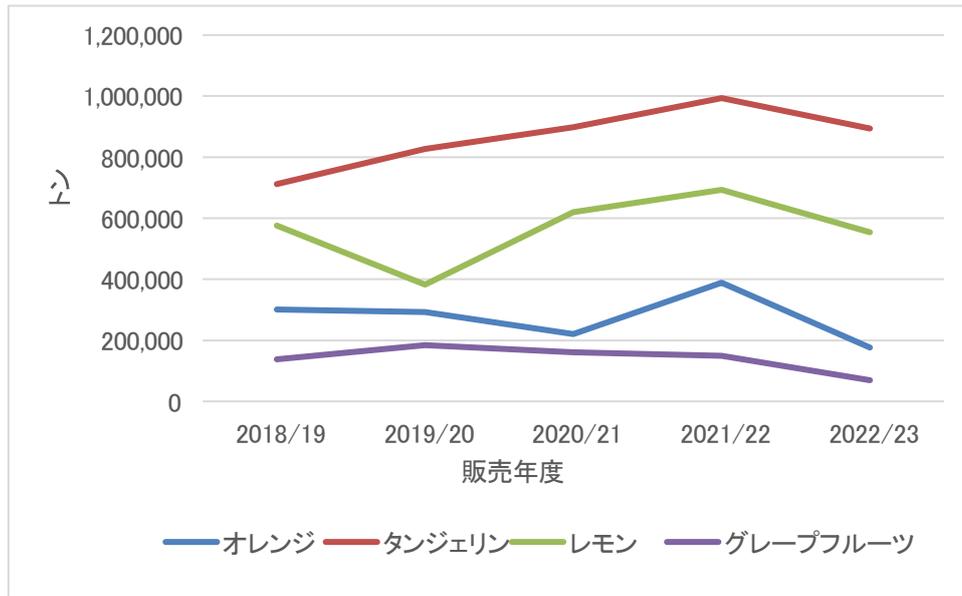
生産者と輸出業者はまた、1トン当たり80ドルであるべき支持価格安定基金(DFIF)が、余剰生産に関連する将来の収益性のために重要であることも指摘している。DFIFは、1980年に予算の枠組みの中で設立された基金で、トルコの経済、生産、雇用の観点から重要と見なされるセクターを支援することを目的としており、農業投入に補助金を提供している。

また、輸出業者らは、DFIFが提供されれば、梱包施設から中国などの遠方の輸出市場に果実を送ることができるようになるかと述べている。

ロシア・ウクライナ戦争、ロシアルーブルの切り下げ、輸出コストの上昇、残留農薬レベルによる果実の拒否、及び輸出信用の獲得の難しさ等により、トルコの輸出は引き続き困難に直面している。しかし、まだ一部の欧州諸国がロシアに対する輸出制裁を実施しているため、トルコの輸出業者らは引き続きロシアへの輸出を増やすことができると期待している。

現在ロシアが輸入する柑橘類の60%をトルコが輸出しているため、トルコの柑橘類輸出業者らは、ロシアへの柑橘類の輸出に関する中国の台頭にも懸念を抱いている。また、南アフリカ、エジプト、モロッコ、イランは、アゼルバイジャンへの柑橘類の輸出でトルコの競争相手になったと考えている。このため、輸出業者らは果実の品質が重要であると考えている。

図1 トルコの柑橘類輸出(品目別)



出典: Trade Data Monitor, LLC

図2 トルコの柑橘類産地



出典: トルコ柑橘類協議会

<タンジェリン/マンダリン(生鮮)>

HSコード 080520、080521、080522、080529(クレメンタイン及びその他のソフト柑橘類を含む)

生産

2023/24年度のタンジェリンの総生産量は、2023年の春の雨と開花時の好ましい気温条件により、55%増の288万トンと予測される。2023/24年のタンジェリンの収穫は、イヤリーN、興津早生、三保早生などの早生品種から、それらの通常の収穫時期である9月25日に始まった。

農場出荷価格は7~8トルコリラ(0.2ドル)/kgであったが、生産者はまだ高い生産コストを補うことができない。一方、小売価格も20~30トルコリラ(0.70~1ドル)/kgと高く、前年比100%の上昇となっている。トルコの生産者は収穫期の労働力不足を懸念し、労働者は日給の低さに不満を漏らしている。

写真1 エーゲ海地方から輸出されるタンジェリン



エーゲ海地方の収量は、2023年春の良好な気温により、100%以上増加すると予想される。しかし、2023年春の雨により、タンジェリンのサイズはこの数年で最も小さい。生産者らは、タンジェリンが各国の輸入仕様に適していない可能性があると考えている。

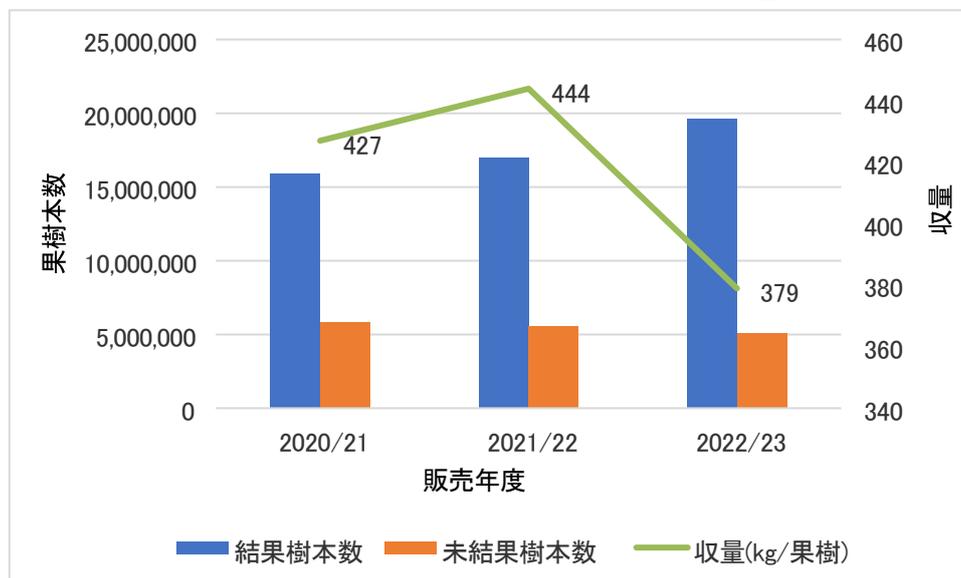
ウンシュウミカン(サツマ)は、この地方で最も広く生産されている品目であり、国内消費と輸出の両方にとって重要である。その総出荷量の80%が輸出されている。従来農地であったエーゲ海に近い土地での建設や観光投資の増加により、この地方の将来の生産量は不確定である。

生産者らによると、ダブルマーコット品種は消費者に好まれているため過剰に植えられているが、来年の生産過剰と収益性の低下が懸念されている。

2022/23年度のマンダリン生産量は地中海地方の好天に恵まれ186万トンであった。2021/22年度のトルコのタンジェリンを生産量は181万トンであった。

トルコ産のタンジェリンの84%は地中海地方、中でもシリアと国境を接する地中海沿岸のハタイ県で多く生産されている。タンジェリンはトルコで最も多く生産されている柑橘類であり、そのうちウンシュウミカンはこの地方で最も多い。

図7 トルコのタンジェリン結果樹、未結果樹の本数と果樹当たりの収量 2020/21～2022/23



出典: トルコ統計局 2023

タンジェリン生産者は、労働力不足と、燃料、電気、肥料、農薬等の投入資材コストの上昇に悩まされている。生産者らによると、タンジェリンは生産するのに最もコストがかかる果実である。生産者価格が生産コストを下回ったままであったため、2023/24年度にはタンジェリンの約3分の1が収穫されずに果樹園に放置された。タンジェリン生産者が直面しているもう一つの問題は、果実の質と量に顕著にかかわる気候変動の影響である。

貿易

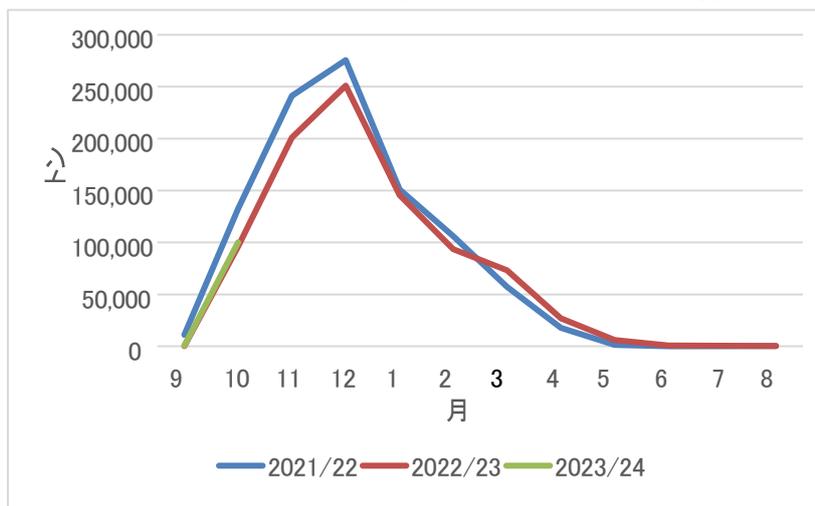
2023/24年度は収量と品質の両方が高いことにより、タンジェリンの輸出量が130万トンに跳ね上がると予測される。タンジェリンの輸出業者らは、今年はEU諸国で干ばつの影響により収穫量が低くなると考えており、これはトルコのタンジェリン輸出業者にとって有利である。しかし、輸出業者らは、高い為替レートに対応するため、包装、梱包資材及び輸送コストに関して、引き続き政府からの支援を求めている。また、今年の生産から利益を得るためには、支持価格安定基金(DFIF)を80ドル/トンに設定する必要があるが、実際には1,500トルコリラ(52.5ドル)/トンが適用されている。

ウンシュウミカンのはほとんどは、ロシア、ウクライナ、セルビアに輸出されている。イラク政府が国内生産を支援するために果実と野菜の輸入を減速させる決定を下したため、昨年のイラクへの輸出量は減少した。トルコの輸出業者にとってこれは、昨年の輸出価格の変動要因となった。

2022/23年度のタンジェリンの輸出量は、収量の減少、イラクへの輸出の減少、ロシア・ウクライナ戦争、及び欧州の景気後退により、5億2千万ドル相当の89万4,276トンであった。2021/22年度のトルコのタンジェリン輸出量は、99万3千トン(4億7,600万ドル相当)であった。(図10)

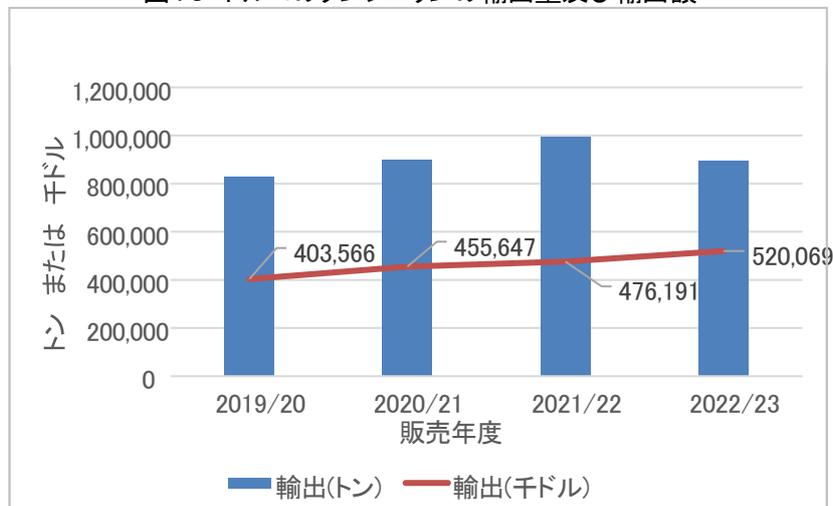
トルコでは、タンジェリンの輸出シーズンは9月～10月に始まる。2023/24年度はイラクからの需要が高い。

図9 トルコのタンジェリンの輸出 2021/22～2023/24 月次比較



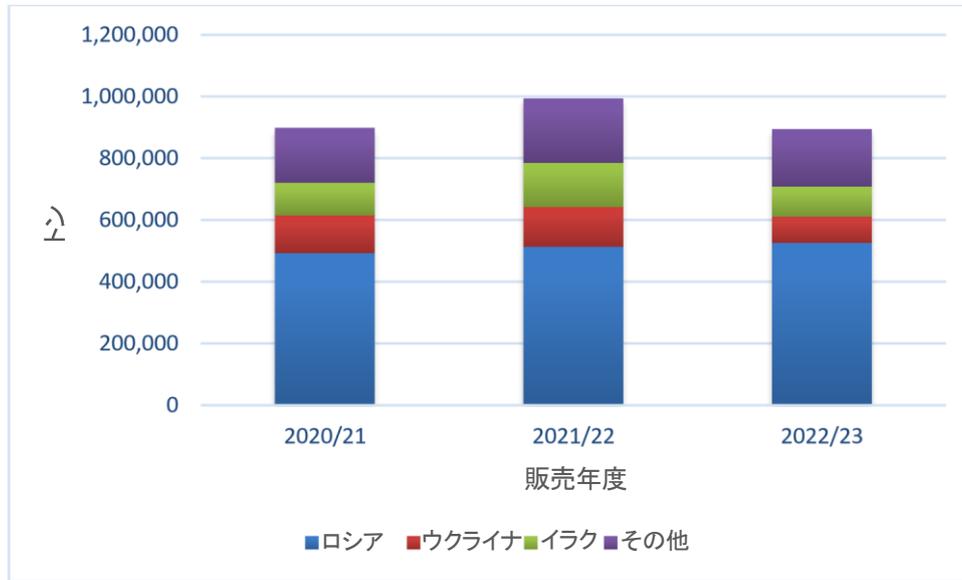
出典: Trade Data Monitor, LLC

図10 トルコのタンジェリンの輸出量及び輸出額



出典: Trade Data Monitor, LLC

図11 トルコのタンジェリン輸出 主要輸出先別



出典: Trade Data Monitor, LLC

オレンジと同様に、タンジェリンをEU諸国に輸出するには適合証明書が必要である。さらに、2022年1月現在、トルコ産タンジェリンの英国への輸出は、到着時の農薬検査の強化の対象となっている。現在、出荷ごとの検査率は50%である。

表2 トルコのタンジェリン/マンダリンの生産需給統計

タンジェリン/マンダリン(生鮮) 販売年度の始まり トルコ	2021/2022		2022/2023		2023/2024	
	2021年9月		2022年9月		2023年9月	
	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値
栽培面積(ヘクタール)	60,719	0	67,853	67,853	0	69,000
収穫面積(ヘクタール)	60,719	0	67,853	67,853	0	69,000
結果樹本数(千本)	16,987	0	19,620	19,620	0	21,000
未結果樹本数(千本)	5,571	0	5,053	5,053	0	5,000
合計果樹本数(千本)	22,558	0	24,673	24,673	0	26,000
生産量(千トン)	1,810	1,810	1,860	1,860	0	2,883
輸入量(千トン)	53	56	56	52	0	50
総供給量(千トン)	1,863	1,866	1,916	1,912	0	2,933
輸出量(千トン)	994	993	990	894	0	1,341
生鮮国内消費量(千トン)	868	872	925	1,017	0	1,591
加工仕向量(千トン)	1	1	1	1	0	1
総仕向量(千トン)	1,863	1,866	1,916	1,912	0	2,933